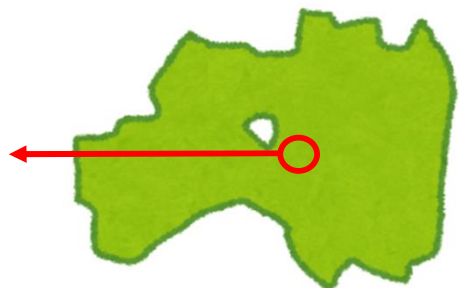


### 取組の概要

- 対象品目 : 果樹(日本なし)  
(産地面積60.5ha)
- 主な取組主体 : 夢みなみ農業協同組合
- 成果目標 : 集出荷コストの10%以上の削減  
基準(H27-29年度) 18,596千円  
目標(R3年度) 16,524千円
- 導入施設等 : 整備事業(選果機2ライン)

福島県  
須賀川市  
須賀川地区



### ポイント

#### 【産地の課題及び取組方向】

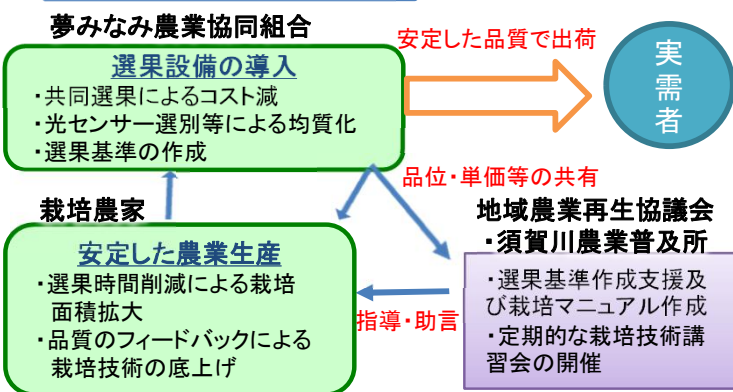
須賀川市では、自然環境や地域特性など恵まれた立地条件を活かし収益性の高い農業を展開してきており、日本なしでも県内有数の産地となっている。しかし選果に係る労働力の減少や、手選別であるために作業が長時間化し集出荷コストが増加するなどの課題があった。そこで、光センサー選果機を導入し選果作業時間の削減・作業合理化することにより、集出荷コストの削減を目指す。



#### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①選果作業時間を削減・作業合理化するための選果機の導入
- ②内部品質と外部品質の全量測定結果を生産者へフィードバックすることによる、栽培技術の底上げ

### 産地体制



### 取組成果

#### 【事業実施による直接効果】

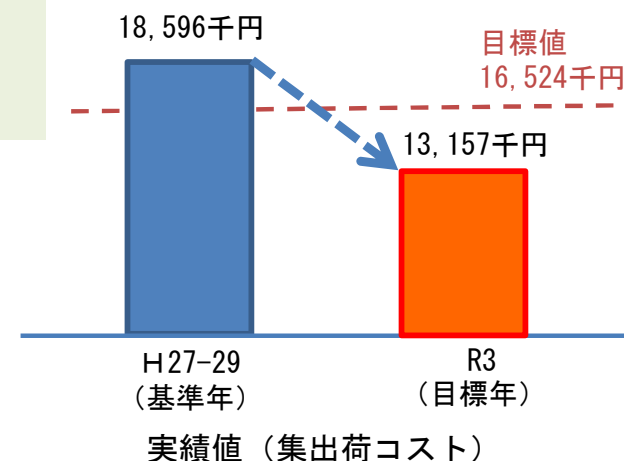
- ①選果機導入による集出荷コスト(選果時間)の削減
- ②品質のフィードバックや選果基準・栽培マニュアルの設定による品質向上効果

#### 【事業実施による間接効果】

- ①担い手による作付面積の拡大
- ②高位均質化による販売単価の増加



集出荷コストを  
**29%削減**  
(達成率263%)



### 〈主な取組〉

### 地域における独自の取組

- ・選果基準及び栽培マニュアル作成
- ・定期的な栽培技術講習会の開催
- ・生産性向上に向けたジョイント仕立ての導入推進
- ・市の事業で事業費の1/10以内を上乗せ補助